



東北大学

平成 24 年 1 月 27 日

東 北 大 学

「東北マリンサイエンス拠点シンポジウム」の開催について  
～東日本大震災が海洋生態系に与えた影響と再生への取組～

文部科学省では、東日本大震災で被害を受けた東北沖の海洋生態系を復興させるため、全国の大学等の研究者が連携・協力して、総合的に海洋の生態系、海洋環境、海底の変化等の調査研究を行う東北マリンサイエンス拠点の形成を進めています。

昨年 1 2 月 2 8 日、本拠点において東北大学を含む海洋生態系の調査研究を中核的に実施する機関が決まりましたので、ミニシンポジウムを開催することになりました。

皆様の参加をお待ちしています。

記

1. 開催概要（参加無料（定員 100 名））

主 催：文部科学省

日 時：平成 2 4 年 2 月 3 日（金）10：00～12：00

場 所：仙台ガーデンパレス「羽衣の間」仙台市宮城野区榴岡 4-1-5（仙台駅東口より徒歩 3 分）

2. プログラム 第 1 部：これまでの調査研究の成果発表

東京大学大気海洋研究所教授 永田 俊 氏

東北大学大学院農学研究科教授 遠藤 宜成・吾妻 行雄

（独）海洋研究開発機構上席研究員 藤倉 克則 氏

（独）水産総合研究センター東北区水産研究所長 平井 光行 氏

第 2 部：東北マリンサイエンス拠点における調査研究の紹介

東北大学大学院農学研究科教授 木島 明博

第 3 部：東北マリンサイエンス拠点の在り方についてパネルディスカッション

3. 参加申込み方法：席に限りがありますので事前登録をお願いいたします。

以下の参加登録ページ又は登録 FAX 番号に氏名、所属、連絡先を明記の上  
1 月 3 1 日までに登録してください。

（参加登録ページ）<https://ssl.form-mailer.jp/fms/ed01b3c9182264>

（参加登録 FAX 番号）03-6734-4147

お問い合わせ先：文部科学省海洋地球課 東北マリンサイエンス拠点事業担当

TEL：03-6734-4142 FAX：03-6734-4147

東北大学災害復興新生研究機構企画室（総長室経営企画スタッフ）

TEL：022-217-5007 FAX：022-217-4856

# 東北マリンサイエンス拠点シンポジウム

～東日本大震災が海洋生態系に与えた影響と再生への取組～

2012年2月3日(金) 10:00～12:00

仙台ガーデンパレス 羽衣の間

宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-5(仙台駅東口より徒歩3分)



## 第一部：これまでの調査研究の成果発表

### ○津波による大槌湾の海洋環境の変化

永田 俊 (東京大学大気海洋研究所教授)

### ○津波による宮城県の沿岸環境・生態系の変化

遠藤 宜成・吾妻 行雄

(東北大学大学院農学研究科教授)

### ○地震後の深海生態系は変わった、 浅い場所の生態系はどうか？

藤倉 克則

((独)海洋研究開発機構深海生態系研究チームリーダー)

### ○水産総合研究センターにおける取り組み

平井 光行

((独)水産総合研究センター東北区水産研究所長)

## 第二部：東北マリンサイエンス拠点に おける調査研究の紹介

代表：木島 明博 (東北大学大学院農学研究科教授)

## 第三部：パネルディスカッション

～東北マリンサイエンス拠点の在り方について～

田中 克

((財)国際高等研究所チーフリサーチフェロー、  
東北マリンサイエンス拠点委員会主査)

平井 光行

((独)水産総合研究センター東北区水産研究所長)

煙山 彰

(岩手県水産技術センター副所長)

酒井 敬一

(宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場長)

木島 明博

(東北大学大学院農学研究科教授)

木暮 一啓

(東京大学大気海洋研究所教授)

北里 洋

((独)海洋研究開発機構海洋・極限環境生物圏領域長)

## 参加無料(定員100名)

●参加お申し込み：参加には事前登録が必要です。下記URLあるいはFAX番号に氏名、所属、連絡先を明記の上1月31日までにご登録ください。定員に達した場合には締め切らせていただきますのでご了承ください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/ed01b3c9182264>

●お問い合わせ先：文部科学省海洋地球課  
東北マリンサイエンス拠点事業担当  
TEL:03-6734-4142 FAX:03-6734-4147



主催：文部科学省